

チーム名	伝統まもり隊	大学名・学部	桜美林大学 ビジネスマネジメント学群	北陸ステージ
プラン名称	How to enjoy snow in Hokuriku			
テーマ	北陸ならではの資源を活かした広域周遊型の「持続可能な観光まちづくり」			北陸イメージアップ推進会議 (福井県) 賞
リーダー名	水野文	メンバー名	水野文・中村歩果・相川優果・井上果南・藤倉海斗・伊波彩・大嶺真生	
指導教職員名	渡邊康洋			

# スキー場で日本文化を体験できるイベントを開催！ 北陸にインバウンドを誘客する！

Q. なぜスキー場でイベントを開催するのか  
 日本で人気のスキーリゾート、ニセコや白馬には日本文化を体験できる施設がない  
 インバウンドの期待に応えながら国内スキーリゾートではできない体験を提供したい！  
 ⇒今あるスキー場との差別化を図る

また、北陸は雪が多くウィンターシーズン(12月～3月)は観光客数が減少  
 イベントを通して、北陸の食×文化×雪の体験で冬の北陸の魅力を伝える

ターゲットについて  
 スキーが好きな人、スキーをやってみたい人はもちろん、  
 アジア圏(主に中国・台湾・韓国)からのインバウンドの誘客を狙う

○Q/今後の訪日旅行でしたいことは?

	N	プロスポーツ観戦	ゴルフ	マラソン・ランニング	スキー・スノーボードなどウィンタースポーツ	トレッキング・登山などアウトドア	ダイビングなどマリンスポーツ	その他スポーツアクティビティ
オーストラリア	258	2.7	3.9	0.8	14.7	8.5	3.9	0.8
韓国	381	2.4	3.9	1.0	12.9	8.4	1.8	0.0
台湾	395	6.6	4.1	3.8	24.1	12.9	10.6	0.3
中国	364	6.6	15.9	17.3	31.9	23.1	19.8	0.5

Source: 観光庁 平成22年度ターゲット国ニース調査 (スポーツのみ抜粋)

冬に対してのネガティブなイメージをポジティブに！

アジアではウィンタースポーツのブームが高まっている

日本の上質な雪、スキー場施設の充実などが評価されている

中国政府がスキー・スノーボード人口を3億人に増やす目標を掲げている

<中国スキー人口の推移及び目標値>



2022年に北京冬季オリンピックが開催  
 多くのスキーヤー、スノーボーダーが日本のスキー場を求めて来ることが予想される

## プラン内容

日本の文化として横丁が再注目！  
 とくに中国人は日本の屋台や居酒屋に興味がある  
 また、日本酒の輸入量上位(2位～4位)はアジア圏  
 ⇒アジア圏は日本酒を好む傾向がある  
 アジア圏の人々が求めているものをスキー場で提供！

石川県「ウィンターバケーション in HAKUSAN」  
 開催スキー場: 白山セイモアスキー場

横丁内で輪島塗、山中漆器を使用

白山横丁  
 県内の飲食店に協力していただき、屋台・出店風に出店  
 郷土料理コーナー、B級グルメコーナーを用意

福井県「スノーフェスティバル in KATSUYAMA」  
 開催スキー場: スキージャム勝山

祭で若狭塗、越前漆器を使用

ゆきなべっこ祭  
 越前和紙をまとった円柱のろうそくで「光の道」を作る  
 各テーブルにストーブを用意し、アツアツの鍋を囲んでもらう

2県共通でかまくらBAR、スタンプラリー、物産コーナーを実施！

かまくらBAR  
 かまくらの中でそれぞれの県の日本酒や自国のお酒を楽しむ

周遊効果にも繋げることができる！

物産コーナー  
 横丁、祭で使用した伝統工芸品の販売  
 加賀縫、若狭めもの細工を外国人に人気のガチャガチャで販売

スタンプラリー  
 各スキー場のコース内にスタンプ場所(各2箇所)を設置し、スタンプを各スキー場1つずつ、計2つ集めるとイベントで使えるお食事割引券をプレゼント！

## 期待される効果

- ①北陸の魅力を発見、地域企業の活性化に繋げる
- ②北陸の産業を保護し、広めることができる
- ③県内の観光地が外国人観光客に対応できるように意識する